

保護者事前研修会アンケート集計《設問1-4》

<p>設問1-4 (セミナーを受講されて、 何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)</p>
<p>8月6日まで少しでも家庭で勇気や元気が支えられるよう心掛けていきたいと思いました。親と一緒に歩けないが、見守ってくれている、応援してくれていると子どもが思えるような接し方をしていきたいと、今日、学ぶことが出来ました。</p>
<p>子どもを信じて見守ること、しかし、干渉や手出しをし過ぎないこと。分かっているけど改めて考えさせられる言葉やビデオでした。ビデオを見て、家族や親せきだけでなく、地域や周りの人たちも一緒になって主人公を育てているなと感じました。これから、私たちも地域全体で子育てしていきたいなと思いました。</p>
<p>日々の生活の中で、いかに子どもに対し信じて待つということをしていないか、子どもの可能性を潰し、母親としての都合のよい達成感を子どもに押しつけているか…。大変に反省すべきことがあると感じました。</p>
<p>今回、初めて参加するのでいろいろと不安が多く、子どもも不安とかでいっぱいだと思うけど、今回のセミナーやビデオを見て、本当に親が変われば子どもも変わるんだと思いました。最後まで見守っていききたい。</p>
<p>信じることの大変さ。信じて待つことのしんどさ。人を信じることで自分も成長させてもらえるんだと感じました。口を出し過ぎず、見守る立場になるように努力します。</p>
<p>母親、父親の役割がそれぞれあると思いました。普段、口や手を出し過ぎかな?と反省し、もっと信じてまってあげようと思いました。</p>
<p>5つの過のうち、4つは大なり小なり行ってしまっているようです。関わるべきポイントを考え直し、今後役に立てたいと思います。</p>
<p>親として子どもの様々なことに対する関わり方について考えました。もう少し手や口を出さずに見守るということもやってみようと思います。</p>
<p>グループディスカッションで感じたのは、やはり、こういう事業に参加させる親は、とても目的意識が高く、感受性も強いと思いました。そんな方々でも日々の子育てに対して、不安や葛藤を感じていることが分かりました。また、ビデオでは、親が信じて見守ることによって、忍耐力はもちろん子どもの想像力も養うことができると感じました。</p>
<p>子どもに干渉しすぎていた自分を反省させられました。つい、結果に目が行ってしまいがちですが、過程こそ大切なのだと改めて思いました。</p>
<p>ビデオを初めて見させていただきましたが、子育ての難しさ、喜びが感じられるものでした。おの100では辛さや喜びを仲間と経験して少しでも人の気持ちを感じとってもらえればと考えております。</p>
<p>ついつい口を出し過ぎたり、手を掛け過ぎている自分を反省しました。ずっと信じて待つ方がしんどいですが、子どもの成長のために必要なので少しずつ私も変わっていききたいと思います。</p>
<p>私は「てんびんの詩」は5回目だったのですが、また新鮮かなと思う反面、またか…という思いもありました。</p>

<p>設問1-4 (セミナーを受講されて、 何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)</p>
<p>昨年も同じセミナーを受けて、過保護、過干渉にならないように気を付けようと強く思ったのですが、一年経ち反省する結果に戻ってました。最近は親も時間が無く、子どもができるまで待つということが、時間に追われることで待ちきれない状況も多々あります。自分のことは自分でできる、また、やりきる力を付けるためには親も忍耐だと改めて思いました。</p>
<p>子どもを見守り、信じることをビデオを見てとても感じました。口を出すことを減らして、私も見守る力をつけたいと思いました。他の保護者の方と話しが出来て良かったです。</p>
<p>私自身、親として悪い例そのものでした。頭では分かっているにもかかわらず実行できませんが、何とか子どものためにやってみようと思います。</p>
<p>他の方も、子どもに過干渉ぎみであることが分かりホッとしました。</p>
<p>色々な方の意見も聞いてとても良い経験が出来ました。</p>
<p>非常に勉強になりました。</p>
<p>何でもある世の中、子ども達に不自由や辛さを経験させることもあまりなく、その為か楽しむ、楽しいという感情を表すのが下手になっている子どもが多いと思いました。親同士の話でも、子どもを必要以上に守り過ぎて、干渉し過ぎているという意見もありました。とても良い意見交換ができました。</p>
<p>子どもに対して、つい失敗ないように口出しを多くしたり、ただ話を聞いてあげる場面でも自分の意見を説教したくなる自分に気付いて、自分の子育てを見直している所なので、このDVDの中のことは他人事やお話ではない感じでした。逆に、子どものことで自分に都合の悪いことを見ないようにする方も多く見られ、過干渉、過放任、どちらも「過」を付けないように良いさじ加減が難しいなと思います。我が子も、我が子以外の子も、きちんと幸せな社会に役立つ人になってほしいです。</p>
<p>子どもの自らの成長を親が邪魔をしてはいけないと思いました。子どもを信じて見守り、待つことができるように頑張りたいです。</p>
<p>ビデオに出てきた両親のように、私もすぐ真似て強く子どもを信じ見守ることができるかということ難しいと思います。でも、甘えと優しさは違うんだと学びました。</p>
<p>まずは親が変わることが子どもを変えることになるんだなと思いました。子どもに何かやらすことは、自分が同じことをやることであると思います。自分が自信が無ければやらすことが出来ない。</p>
<p>毎回思い、反省することがあります。ついつい口をはさんでしまう所、先回りしてしまう所、もっと子どもを信じて接していかないとと思います。</p>
<p>やってはいけない「5つの過」は、耳が痛かったです。日頃の生活を振り返り、これから頑張っていこうと思いました。</p>
<p>自分が子離れできず、今まで甘やかせたり何でも手助けしてきたことを深く反省することが出来ました。やってはいけない「5つの過」をしっかり頭に入れてこれから子どもと向き合っていきたいです。</p>
<p>親として子どもに接する気持ちやすこしは変わった気がします。</p>

設問1-4
(セミナーを受講されて、
何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)

子どもとの距離の取り方が難しいですね。過保護⇔過放任。躰というのはマナーのことだと思っていましたが、生活習慣からすでに躰なんだと改めて思いました。

ビデオを見て、日頃どれだけ子どもに手出しせず見守りが出来ていただろうかと反省しました。先回りして子どもの不安を取り除くことをして、信じて行動させることが出来ていなかったと思います。また、詩の「5つの過」「子どもに」はとても共感しますね。

子どもを信じ、親は心配しながらも温かく、時に厳しく接することが大切であり、子どもを育てる過程で親も育たなくてはならないのだと感じました。

自分の子育ての方法を見直しするチャンスをもたらったと思い、もう一度考えをまとめてみたいと思います。

昨年同様、子どもを信じて見守るということがむずかしいなぁと思いました。昨年、セミナーを受講してから一年経ったので、私自身また過保護、過干渉、過許可になっていると反省しています。

祖父母と同居していて大人の中で育ったので、過干渉、過保護になっていると改めて感じました。今日から、子どもの可能性を信じて一歩後ろから見守りたいと思いました。

親としての役目。子どもにしてあげることは何かを考えさせられました。手を出し過ぎても、出さな過ぎてもいけないし、その距離間が難しいと思いました。

ビデオは、始めは時代が違うから…とも思いましたが、途中からは色々と心に残る言葉が出てきて引き込まれました。その中でも、お婆様がお母さんに「(あなたは)自分が心配するのが辛いからと言って、子どもの成長する機会を奪っても良いのか？」と云う様な内容のセリフがあったように思います。まさに今の自分の気持ちを言い当てられたようでドキッとさせられました。初めての参加ということで親は不安ですが、それを前向きな子どもに伝染させないようにしたいと思います。

色々な思いを感じる事が出来ました。自分もこれを機に成長できるように頑張ろうと思いました。

ビデオ上映で、とても子ども達に対して、親にとってもこの旅に際してどうやって向き合っていくのかを考える良いきっかけになりました。普段、何気ない生活でも、どれだけ大切なのかということを考えさせられました。

親としての在り方を毎回考えさせられるセミナーであったと思います。過去3回同じセミナーを受けているのに…。改めて勉強させられました。学んで帰っても、また同じようにダメな子育てをして。でも、このセミナーで学んだことを思い出して、でもまた忘れて。そんな繰り返しです。でも、おの100での学びがなかったらダメダメ子育てでお待っていた、そう思うとゾッとします。

主人公の家庭と同じく、社会の中で自立していけるように日々葛藤しています。今回のビデオを見て感じたのは、主人公に大切なことを一つ一つ教えていくのに、まわりの大人が一役ずつ担っていること。そして、1つのことを自覚できるまで何カ月掛かっても大人が妥協しないこと。今の自分に足りてないのはその忍耐力だと痛感しました。

昨年も受講させていただき、昨年も「5つの過」を読んで気を付けようと思いましたが、すっかり忘れていました。改めて再認識することができました。今朝の新聞に「乳児期は肌を離さず、幼児期には手を離さず、学童期には目を離さず、思春期には心を離さず」という言葉がありました。今日のセミナーと重なる所がありとても良かったです。

<p>設問1-4 (セミナーを受講されて、 何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)</p>
<p>昨年、姉がおの100から帰って来て、我慢強くなるなど多くの変化が出て、今年も出たいと言ったので、妹も出るようにしました。妹の方にはおの100を完歩することで自信をつけてほしい。</p>
<p>親が変われば子も変わる。この言葉に感銘を受けました。前年は母親がこのセミナーに参加しましたが、子の親としてこの様なセミナーに参加が出来ることを嬉しく思います。</p>
<p>親自身も子育ては忍耐が必要だなと感じました。</p>
<p>毎日の生活でやっぱりうるさく言ったり、関わり過ぎたりで反省することばかりです。やっぱり、親が変わらないといけないとつくづく思います。</p>
<p>改めて親というのを気付かされた気がします。今回のセミナーに参加して子どもの成長を親である私が壊しているのだと、日常を振り返ってみて気付きました。</p>
<p>改めて、子どもに対する接し方を考えさせられました。これからの子育てに、今日感じたことや反省点などを活かしていきたいと思います。良い機会を与えてもらったと思います。</p>
<p>親の自立と、子どもの自立の両方が、同じく大切。この子の自立は何か、本気で考えたいと思います。</p>
<p>子どもは日々成長しているのに、自分は親としてまだまだ成長できていないと思う。親としての成長は、人としての成長でもあると思うので、子どもと共にもっと学んでいかなければならないことがあると思う。また、自分の子どもだけでなく、他の子どもに対しても人として大事なことを伝えていければと思う。</p>
<p>子どもがいない5日間で、夫婦で子離れについて色々話をしてみようと思います。「あなたは弓であり、あなたの子どもはあなたから飛び立つ矢である」この言葉がとても心に残りました。</p>
<p>非常に参考になりました。</p>
<p>親がぶれないというのは本当に大変だと思いました。日々の生活の中で、子どもが親から離れないように親の方がしているなあと思いました。自分で考えて行動できるようになってほしいと思いました。</p>
<p>ビデオや他の人の意見を見たり聞いたりして、そういう考え方もあるんだとか、立派だなと思ったりしました。この考え方を自分の子どもに100%応用できる自信はまだないけど、少しでも覚えていて、子どもと接する時には役に立てたいと思いました。</p>
<p>リピーターと初心者のディスカッションでは、和気あいあいと話すことが出来て良かったと思いました。5つの過。改めて自分の子育てを見つめ直すことが出来ました。</p>
<p>リピーターの意見、ビデオ等により子どもとの接し方を再度考えることが出来ました。</p>
<p>子どもに考える時間を与えることが大事なんだなあと思いました。時間の無い中でも、少しは考えさせることをせず、すぐに助言してしまう日頃の私の子育てに反省しました。</p>
<p>毎日の生活を振り返り、とても反省しました。ついつい手を出して子どもを甘やかしているなど…。講演会を何度か聞かせて頂いているのですが、毎回、その時反省しています。今回もまた同じ思いをしてしまいました。変わっていない自分自身に反省です。</p>

設問1-4

(セミナーを受講されて、
何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)

子どもに対する接し方を改めて考えさせられました。子どものすることに口を出し過ぎる自分を反省しました。「親が変われば子どもが変わる」「子離れ」「子どもの力を信じる」このことを自分に言い聞かせて子どもに接していこうと思います。特に5つの過に関しては思い当たる節もあり反省しました。

過保護にしているつもりは無いのですが、「5つの過」に値していました。子どもの安全を考えているつもりが、ただの過保護だったのでしょか。

親の心構えとして何を望まれているのか、もっと具体的に要求していただいても良いのかと。親としてできることはお手伝いさせていただきたいし、控えなければいけないことはハッキリと言われた方が分かりやすいです。

大人も子どもも生きていく中で一番大切なのは人と人との信頼を築いて生きていくことだと思います。上映されたビデオでもそうでしたが、時代や背景は違って、お互いを思い合う形は変わらないと思いました。3度目のビデオ観賞でしたが、より深く現実生活に置き換えて見ていました。大人の生き方が子ども達に全て影響を与えますね。

自分の経験に基づいて得た生きるための知識や知恵、ルールやマナーは将来にわたってその人の人格形成に大きな財産となります。子をしっかりと見守ってやり、将来の方向性を自らの力で見出せるようにキッカケを作ってやりたい。本人が経験を望むことは出来る限りさせてやりたいと思っています。

子どもを変えようとする前に、自分(親)が変わらなければいけない。子どもを変えようと考えてはいけません。と教えられている私なのですが、なかなか自分を変えることは難しく、進歩があまりなくて挫折していたのですが、もう一度頑張ってみようかと思いました。

ビデオを見て、大作の母と自分を比べると、私は子どもに甘いなと思いました…。ついつい手を貸してしまうことが多々。5つの過の詩はとても私の心に響きました。

”過去と他人は変えられない”…心に残りました。

普段から過保護にならないように気を付けているつもりですが、まだ反省する点があると思いました。過放任ということは意識していませんでした。

ビデオは今の生活と比べると掛け離れていて、親の気持ちは分かりましたが今の生活の中ではなかなか無いことだと思いました。

両親揃って受講した方が良かった。夫の協力が無いと私ひとりでは…と感じることが生活の中にはたくさんあるので。

ビデオ観賞は内容は良かったと思います。短時間のグループディスカッションであれば、テーマを一つに絞ってみてはいかがでしょうか。

毎回、セミナーを受けた後は、日常生活の反省をします。ついつい口出ししているなあとか、手助けしているなとか、色々です。子どもを信じて、私も勉強していかないと自身の成長が無いと思いました。

見守り、見離す(無関心)の違いを、以前に保育所の先生から指摘され「見守り」の出来る私になるよう努力していた所でした。今回も、再度考えさせられました。

<p>設問1-4 (セミナーを受講されて、 何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)</p>
<p>子どもに指示を出したり、口うるさく言うことは子どものためではなく、自分のイライラの解消だったのかもしれませんが。子どもを信じて待つことの大切さを知りました。</p>
<p>耳が痛いお話です。確か、昨年も過保護、過干渉…5つの過にドキッとさせられたような。気を付けたいと思います。反省。</p>
<p>このセミナーは3回目となりますが、何度受けても反省すべき点が変わっていないことに情けない思いです。「手を出し過ぎる」「先に答えを言う」「甘やかせ過ぎる」を毎年気付けていただくの…。あれから1年経った今日も同じ気持ち(気付き)を持ってしまう私で反省します。今年で最後です。親としても成長したいと思います。</p>
<p>ビデオの内容自体は時代が違い過ぎてなかなか自分に置き換えて考えるまでには至らなかったが、母が子を想う気持ちは時代に限らないと思いました。子どもを信じて見守ることがいかに子どもの成長につながるかを改めて考えさせられました。</p>
<p>講演やビデオを見て、やはり親は強い心を持たなければいけないと思いました。口にだしたり、手をだしたりすることは簡単ですが、信じたり、待ったりすることはなかなか出来ないからです。これからは、今回のセミナーのことを胸に留めて接したいと思いました。</p>
<p>子どもに対しての関わり方について考えさせられました。つい、先回りして子どものやってしまうことがあるので、信じて待つことをしないといけないと思いました。</p>
<p>また一年が過ぎ、やって来たなぁと実感しました。一年が経ち、また待つことの大切さを忘れ、共に子どもと感動し、分かち合うことを忘れダメな母親をやっている自分に反省です。心から私も自分のものにしないでならない、2年目のチャレンジです。実行しなくては…。</p>
<p>今、子育てで頭を打ち、悩んでおりました。改めて強い覚悟を持ち、本気でぶつかっていかうと思いました。</p>
<p>子どもの成長を見守って待つようにしているつもりでしたが、まだまだ口出しや手出しをしているなと思いました。自分の子どもだけでなく、よその子どもにも悪いこと、間違っていることは注意してみんなで育てていける世の中、そんな大人に成長していきたいと思います。「子どもを育てる」ということは、大人も成長するということなんだなと思いました。楽しんで自分も成長していきたいと思います。</p>
<p>リピーターの保護者の方の意見を聞いて良かった。自分は、今、すごく甘やかされていると実感した。自分(親)も変わらねば…と思った。子どもを信じる強い力を持つことを学びました。</p>
<p>リピーターの方、初めて参加される方の意見が聞いて良かったと思います。子離れをしないといけないと思うがなかなか出来ない、同じ思いをされていると安心しました。</p>
<p>いろいろな場面で親(私)がまだ口を出し過ぎていることを再認識しました。子どもの「個」を認めて待つこと。とても難しいけれど一番大事なことだと改めて思いました。</p>
<p>子どもとの距離間が難しい。特に思春期に向けてどれくらい「見守る」ができるか不安。</p>
<p>私が子ども達に対して意見等を言い過ぎることによって、子どもの芽を摘んでいる気がしました。反省。</p>

設問1-4
(セミナーを受講されて、
何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)

おの100に何度か参加されたお子さんの保護者の方から体験談や気持ちを伺うことができ、心配よりも期待の方が大きくなったように思います。

今の私には、子どもの力を信じて忍耐強く見守ることができていないなと思いました。「ああしなさい。」「こうしなさい。」と、ついつい目の前のことばかりを言ってしまっていたことを反省です。長いスパンで目的を見失わずにブレずに子どもを信じ、待つことも大事なんだと改めて感じました。また、親の背中を見せられるように、日頃から私自身も成長できるようにしていきたいと思いました。

子どもと私は別の人間なので、自分の思うようにはならない。だから、心配もするし、怒りもするし、褒めもする。そんなことを考えることが最近多いです。親の手を離れた所で、成功も失敗も、嬉しいことも嫌なことも、色々な体験をして悪いことをすれば周囲の大人に叱られれば良いし、そのことを親はしっかり受け止めて、また、子育てをしている。そうして親も親として成長していくんだろうなぁ…と思いました。子どもが成長していくのに、負けないように私も親として成長していきたいです。

ビデオを見るのは今日で4回目だけど、何回見ても感動する。ストーリーの展開はすべて分かっているのに、鍋蓋が売れた時は涙が出る。

日頃から親の我慢（手出しをしない）を気をつけてしているのですが、学校から言われることは昔の自分たちがしてもらっていたことでは無いこと多く、考えることが多いです。もう少し、学校からの注文も減ると良いのにと思うことがあります。

今回で3回目ですが、1年間の毎日を振り返る場になっています。何カ月もかけて子どもの努力を見守ることが出来る忍耐力がないなぁと反省しています。

親が気付いても、見守り、待つことの大切さを分かりました。前回、参加してから、自分のことは自分ですることが出来るようになったので、まず、100kmの準備は本人にさせてからアドバイスしたいと思います。